※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「図説　日本史通覧」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去の一点一点が「現在」につながっていることを認識し、現代社会が直面する諸課題について主体的に考察し、より良い社会を構築するヒントとする。
・これから世界をフィールドに活躍する際に、現在自分が生きる国の歴史や在り方について必要な知識と理解を持つことにより、他国や異なる文化を理解し、尊重する姿勢を養うことができる。
・歴史は実証的な学問である。つねに公正かつ客観的な視点を持ち、歴史的事象を多面的かつ多角的に捉えることができる柔軟な視点が必要である。

2　学習の到達目標

・日本の伝統と文化の特色についての認識を深めるとともに、諸資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・日本と歴史の展開を、地理的条件などとも関連付けて考察することを通して歴史的思考力を培い、現代の日本が直面する諸課題について深く考察する力を養う。
・日本の歴史を学ぶことを通して、グローバル化が進む現代において、平和で民主的な世界を構築するために国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、地域社会や異文化の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に考察しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期(三年次)	近世の幕開け	・織豊政権 ・桃山文化	a:織豊政権の支配体制や桃山文化の特色について基本的な知識を身に付ける。 b: 文献資料や絵画資料から、政策の内容や意図を読み取る。 c: ヨーロッパや東アジアの動向、兵農分離策を踏まえて織豊政権の特色や意義、次の幕藩体制につながる影響を考察・追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
	幕藩体制の成立と展開	・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	a: 諸産業や経済の発展を踏まえ、安定期の幕政の諸政策について理解する。 b: 文献資料や絵画資料から諸産業および経済の発達、それに対する諸政策の内容や意図を読み取る。 c: 文治政治の転換から元禄文化について、町人の経済的繁栄を踏まえ、社会の変化と関連させて考察・追究している	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	a: 列強の接近に伴う対応や社会の変容を踏まえた、諸改革の内容を理解する。 b: 文献資料・絵画資料などから幕府や諸藩の諸政策の内容やその意図、化政文化における近代化への萌芽を読み取る。 c: 国際情勢の変化やそれに対する幕政の対応を踏まえて、幕府の衰退と雄藩の出現過程を考察・追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期(三年次)	近世から近代へ・近代国家の成立	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	a: 国際化の中で進められた近代国家の政治・社会・経済の発展について、問題点も含めて客観的に理解する b: 文献資料などから政府の諸政策の内容およびその意図、社会的影響などを読み取る。 c: 東アジアをめぐる国際環境が変容する中、新政府の制度改革や経済政策などに着目して近代国家の基盤が形成されていく過程を考察・追究している。	定期考査	定 期 考 査	レポート ワークシート
	近代国家の展開・近代産業と生活	・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	a: 各戦争がが日本の社会や経済にもたらした影響についてその内容もふくめて客観的な知識を身に付けている。 b: 文献資料などから政府当時の国際情勢と日本政府の動向を客観的に読み取る。 c: 国際環境の推移を踏まえ、政府の国内・対外政策について日本の立場に着目して考察・追究している。	定期考査	定 期 考 査	レポート ワークシート
	恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a: 恐慌などの経済的事象や大戦についての基本的な知識を身に付け、客観的にかつ公正に理解する b: 文献資料などから政府当時の国際情勢と政府の対応について客観的に読み取る。 c: 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について客観的に考察・追究している	定期考査	定 期 考 査	レポート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期(三年次)	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	a: 戦後の占領政策や冷戦の開始と講和について客観的な知識を身に付け、理解する。 b: 文献資料などから、諸政策の内容や意図を読み取る。 c: 戦後の世界秩序と東アジア情勢の変化を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革の経緯と内容、日本が独立した意義について客観的に考察・追究している。	定期考査	定 期 考 査	レポート ワークシート
	高度成長の時代	・55 年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	a: 国際社会の動向を背景に国内の政治や経済、外交の諸現象についての知識を身に付け、客観的に理解する。 b: 文献資料などからその内容と意図を読み取る。 c: 国際社会の動向や経済復興を、政治・外交、生活の変化などに着目して考察する。	定期考査	定 期 考 査	レポート ワークシート
	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	a: 国際社会の動向を背景に国内の政治や経済、外交の諸現象についての知識を身に付け、客観的に理解する。 b: 文献資料などからその内容と意図を読み取る。 c: 冷戦体制の終結とそれに関わる国内外の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて、多面的、多角的に考察・追究している。	定期考査	定 期 考 査	レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度